

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式 2 一問一答方式

質問件名 人口ビジョン及びひと・まち・しごと総合戦略は市民を幸せにするか

【質問要旨】

小平市では、昨年 11 月に成立した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定することを決め、2014 年度一般会計補正予算で関係費 1000 万円を計上しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると 2060 年の日本の人口は 8674 万人。これを約 1 億人程度にとどめるような長期ビジョンをつくるのが、国の目論見です。しかし、子どもを生み育てるということは非常に個人的な出来事であり、国が人口目標を持つことに危うさを感じないわけではありません。たいせつなのは、生みたいと思った人が安心して子どもを産むことができ、子どもがのびやかに育つことができる環境をつくることです。

また、世界に例を見ない超高齢社会が到来していることについては、医療・介護・福祉・年金制度を新しい発想で充実させ、安心できる老後を迎えることができる社会保障制度を構築した上で、地域で高齢者が幸せに暮らし続けられるよう工夫をすることが求められています。

少子高齢化については 20 年以上も前から言われ続けており、本来は子育て支援や介護施策など各事業で対策が講じられているはずですが、それをなぞるだけの計画では 1000 万円を投じる意味がありません。特に人口ビジョンにおいては、東京圏への人口の過度の集中を是正するという目的もあり、各自治体から上がった計画を東京都や国がどのように取りまとめ後押しするかが問われてきます。上から下への数値の押し付けになれば、前述したように子どもを産むことへの国の介入ということにもなりかねません。

人口減少に正面から向き合い、新しい価値観で個人の幸福とコミュニティの活性化につながるビジョンが描けるよう以下の質問をします。

- ① 妊娠・出産・子育てに関しては女性や若い世代の意見聴取が欠かせないと思うが、その具体的方法は。
- ② 高齢化率や高齢者の単身世帯数など、首都圏における超高齢化と人口ビジョンについての基本的な考え方は。
- ③ 人口ビジョンでは、東京一極集中の是正が掲げられているが、策定過程における都内自治体や東京都との調整はどのようになるのか。
- ④ 総合戦略において、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会や市民意見公募、議会などの提案により、既存の事業を強化したり新たな事業を創設することは可能か。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2015 年 6 月 1 日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)